



(注) 掲載写真は PoE スイッチのモデルです。  
実際の製品とは異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

## Cisco Small Business 200 シリーズ スマート スイッチ

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、  
リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご確認ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

## はじめに

この度は、Cisco Small Business ネットワーク通信デバイス、Cisco 200 シリーズ スマート スイッチをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このデバイスは、詳細な設定が不要で標準ブリッジとしてすぐにご使用いただけます。デフォルト設定では、電源投入後、接続しているデバイス間でパケットの転送が行われます。

### パッケージの内容物

- Cisco スマート スイッチ (SF 200-24、SF 200-24P、SF 200-48、SF 200-48P、SG 200-18、SG 200-26、SG 200-26P、SG 200-50、SG 200-50P モデル)
- ラックマウント キット
- 電源コード
- クイック スタート ガイド (本書)
- 製品 CD

このマニュアルでは、スマート スイッチ各部のレイアウトを紹介し、お客様のネットワークにこのデバイスを配備する方法について説明します。詳細については、[www.cisco.com/jp/go/sb](http://www.cisco.com/jp/go/sb) を参照してください。

## 1 シスコ スイッチの設置

スイッチを設置する方法には、次の 2 通りがあります。

- 平らな面に設置する。
- 標準的なラック (高さ 1U を占有します) に取り付ける。

次のような条件が当てはまる場所には設置しないでください。

**高温:** 周囲温度は 40°C (104°F) 以下でなければなりません。

**通気妨害:** 過熱防止のため、両方の側面パネルが塞がれないようにしてください。

**機械的過負荷:** デバイスが滑ったり移動したりしないよう、水平で安定した状態でしっかりと固定させてください。

**回路の過負荷:** 電源コンセントにデバイスを追加接続することで、その回路に過負荷をかけることのないようにしてください。

## ラックマウント設置

ラックマウント設置ができるスイッチには、ラックマウント キットが付属しています。標準ラックにスイッチを取り付けるには、付属の金具を使用してスイッチの両側面にブラケットを取り付けてしっかりと固定します。



---

安定性を確保するために、最も重いデバイスから順に下から上へとラックに載せていきます。重いデバイスをラックの一番上に載せると、不安定になり、転倒する可能性があります。

---

## 2

## ネットワーク デバイスの接続

スマート スイッチをネットワークに接続するには、次の手順に従います。

**ステップ 1** イーサネット ケーブルをコンピュータ、プリンタ、ネットワーク ストレージ、または他のネットワーク デバイスのイーサネット ポートに接続します。

**ステップ 2** イーサネット ケーブルのもう一端を、スマート スイッチの番号の付いたイーサネット ポートのいずれかに接続します。

接続されたデバイスがアクティブ状態の場合、ポートの LED が点灯します。各スイッチのポートおよび LED の詳細については、「[Cisco Small Business スマート スイッチの機能](#)」(P.7) を参照してください。

**ステップ 3** スマート スイッチに接続する各デバイスで、**ステップ 1** および **ステップ 2** を繰り返します。

(注) ギガビット接続にはカテゴリ 5 以上のケーブルを使用することを推奨します。ネットワーク デバイスを接続する際は、最大ケーブル配線距離 100 m (328 フィート) を超えないようにしてください。デバイスや LAN が接続されてから、動作可能になるまでに最大 1 分かかることがあります。これは予想される通常の動作です。

## Power over Ethernet の考慮事項

スイッチが Power over Ethernet (PoE) モデルの場合、次の電源要件を考慮してください。

- 本スイッチは、Power Sourcing Equipment (PSE; 給電側機器) デバイスとして、各 PoE ポートで最大 15.4 ワットの電力を Powered Device (PD; 受電デバイス) に供給できます。

PoE は次のポートで利用できます。

モデル	ポート
SF 200-24P および SG 200-26P	1 ~ 6 および 13 ~ 18
SF 200-48P および SG 200-50P	1 ~ 12 および 25 ~ 36

次の表を使用して、スイッチ上のすべてのデバイスで利用可能な電力の総量を決定します。

モデル	PoE 給電
SF 200-24P	100 ワット
SF 200-48P	180 ワット
SG 200-26P	100 ワット
SG 200-50P	180 ワット

## 3

### Cisco Small Business スマート スイッチの 設定

#### 作業を開始する前に

Microsoft Internet Explorer (バージョン 6 以上) または Firefox (バージョン 2.0 以上) がインストールされたコンピュータを利用できることを確認してください。

#### Web ベースのインターフェイスを使用したスイッチへのアクセスと管理

Web ベースのインターフェイスを使用してスイッチにアクセスするには、スイッチの管理 IP アドレスを知っている必要があります。スイッチのデフォルト設定では、DHCP サーバから IP アドレスを取得するか、スタティック IP アドレスに変更されるまで、工場出荷時設定の IP アドレス **192.168.1.254** を使用するようになっています。

スイッチが工場出荷時設定の IP アドレスを使用している場合、[System] LED は連続的に点滅します。スイッチが DHCP から割り当てられた IP アドレスや管理者が設定したスタティック IP アドレスを使用している場合、[System] LED は点灯します。

(注) DHCP サーバや手動によってスマート スイッチの IP アドレスが変更された場合、スマート スイッチへの接続は切断されるため、新しい IP アドレスを使用してデバイスを設定する必要があります。

スマート スイッチを設定するには、次の手順に従います。

**ステップ 1** コンピュータとスイッチの電源をオンにします。

**ステップ 2** コンピュータをスイッチに接続します。コンピュータをスイッチと同じ IP サブネットに接続するには、イーサネット ケーブルでコンピュータとスイッチを直接接続するか、他のスイッチを介して目的のスイッチに辿ることが可能な同一の LAN にコンピュータを接続します。また、

複数の IP ルータを経由して、別の IP サブネットのスイッチにコンピュータを接続することもできます。

### ステップ 3 コンピュータの IP 構成を設定します。

- a. スイッチがデフォルトのスタティック IP アドレス **192.168.1.254** を使用している場合、他のデバイスによってまだ使用されていない IP アドレスを **192.168.1.1** ~ **192.168.1.253** の範囲内で選択する必要があります。
- b. IP アドレスが DHCP によって割り当てられる場合、DHCP サーバが実行中で、スイッチとコンピュータから接続可能であることを確認します。各デバイスが DHCP サーバから割り当てられた新しい IP アドレスを検出するために、デバイスを一旦切断して再接続することが必要な場合があります。

(注) お使いのコンピュータで IP アドレスを変更する方法は、そのアーキテクチャやオペレーティング システムの種類によって異なります。お使いのコンピュータのヘルプとサポート機能で「IP アドレスの設定」について参照してください。

### ステップ 4 Web ブラウザを開きます。デバイスに接続したときに、Active-X プラグインをインストールするよう求められた場合は、指示に従ってプラグインのインストールを許可します。

### ステップ 5 アドレスバーにスイッチの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。たとえば、**http://192.168.1.254** のように指定します。

スマート スイッチのログイン ページが表示されます。

### ステップ 6 次のログイン情報を入力します。

ユーザ名は「**cisco**」です。

デフォルトのパスワードは「**cisco**」です（パスワードでは大文字と小文字が区別されます）。

### ステップ 7 デフォルトのユーザ名とパスワードで初めてログインする場合、[パスワードの変更] ページが表示されます。新しい管理者パスワードを入力し、[適用] をクリックします。



注意

---

**Web** ベースのインターフェイスを終了する前に、[保存] アイコンをクリックしてから、[適用] をクリックして設定の変更内容を必ず保存してください。設定を保存する前に終了した場合、変更内容はすべて失われます。

---

[はじめに] ウィンドウが表示されます。これで、スイッチを設定する準備が整いました。詳細については、『Cisco Small Business スマート スイッチ アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

## 接続に関するトラブルシューティング

Web ベースのインターフェイスを使用してスイッチにアクセスできない場合、スイッチはコンピュータから接続不能な状態になっている可能性があります。ネットワークの接続状態は、**ping** コマンドを使用してテストできます。次に、Windows 環境で「ping」を使用する方法を示します。

---

**ステップ 1** [スタート]>[ファイル名を指定して実行]を選択し、**cmd** と入力して、コマンド ウィンドウを開きます。

**ステップ 2** コマンド ウィンドウ プロンプトで **ping** と入力し、スマート スイッチの IP アドレスを入力します。たとえば、**ping 192.168.1.254** (スマート スイッチのデフォルトの IP アドレス) のように指定します。

スイッチに接続可能な場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.254 with 32 bytes of data:  
Reply from 192.168.1.254: bytes=32 time<1ms TTL=128
```

スイッチに接続できない場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.254 with 32 bytes of data:  
Request timed out.
```

---

## 考えられる原因と解決策

### 電源が投入されていない：

スイッチとコンピュータがオフになっている場合は電源を投入してください。

### イーサネットの接続不良：

LED の表示が正常であるかどうかを確認してください。イーサネット ケーブルのコネクタがスイッチとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。

### 不正または競合する IP アドレス：

スイッチの正しい IP アドレスが使用されていることを確認してください。スイッチの現在の IP アドレスは、ネットワーク管理者に確認することができます。[System] LED には、スイッチが IP アドレスを受信した場所が示されます。詳細については、第 4 項を参照してください。

別のデバイスがスイッチと同じ IP アドレスを使用していないことを確認してください。

### IP ルートがない：

スイッチとコンピュータが異なる IP サブネットに存在する場合、2 つのサブネット間でパケットをルーティングするために、複数のルータが必要になります。

## アクセス時間が異常に長い：

スパニング ツリーのループ検出口ジックにより、新しい接続を追加すると、その影響を受けるインターフェイスや LAN が動作可能な状態になるまで 30 ～ 60 秒かかる場合があります。

# 4

## Cisco Small Business スマート スイッチの機能

ここでは、ポート、LED、接続を含むスマート スイッチの外観について説明します。すべてのモデルに説明されている全機能があるわけではありません。

### ポート

**RJ-45** イーサネット ポート：これらのポートを使用して、コンピュータ、プリンタ、アクセス ポイントなどのネットワーク デバイスをスイッチに接続します。

**miniGBIC** (存在する場合)：miniGBIC (ギガビット インターフェイス コンバータ) ポートは、miniGBIC モジュールの接続ポイントです。光ファイバを接続してスマート スイッチを他のスイッチへアップリンクすることができます。

- シスコ製 **Small Business** 製品専用モジュール (MGBSX1、MGBLX1) をご使用ください。またこのモジュールは、**Small Business** 製品以外の他のシスコ製品では使用できませんので、ご注意ください。
- miniGBIC インターフェイスはコンビネーション ポートとなっており、もう 1 つの RJ-45 インターフェイスと共有されています。miniGBIC がアクティブな場合、隣接した RJ-45 ポートはディセーブル (無効) になります。
- 対応する RJ-45 ポートの LED は、miniGBIC インターフェイスのトラフィックに応答するとグリーンに点滅します。

## LED

**[System] LED** : (グリーン) スイッチの電源がオンになると LED が点灯し、ブートやセルフテストの実行中、または IP アドレスを取得している間は点滅します。LED がオレンジ色に点滅した場合、スイッチがハードウェア障害を検出したことを示します。

**[LINK/ACT] LED** : (グリーン) ポートの左側に配置されています。対応するポートと別のデバイスとのリンクが検出されると点灯します。ポートでトラフィックの転送を行っているときは、LED が点滅します。

(注) **[System]** および **[LINK/ACT]** の LED はスイッチの各モデルに搭載されています。次の LED は、該当する機能を備えたスイッチ モデルにだけ搭載されています。

**[PoE]** (存在する場合) : (オレンジ) ポートの右側に配置されています。点灯している場合、対応するポートに接続されたデバイスに電力が供給されていることを示します。

**[100M] LED** (存在する場合) : (グリーン) ポートの右側に配置されています。別のデバイスがポートに接続されて電源がオンになり、**100 Mbps** のリンク速度でデバイス間の接続が確立すると点灯します。LED が消灯している場合は、接続速度が **100 Mbps** を下回っているか、ポートに何も接続されていないかのいずれかです。

**[Gigabit] LED** (存在する場合) : (グリーン) ポートの右側に配置されています。別のデバイスがポートに接続されて電源がオンになり、**1000 Mbps** のリンク速度でデバイス間の接続が確立すると点灯します。LED が消灯している場合は、接続速度が **1000 Mbps** を下回っているか、ポートに何も接続されていないかのいずれかです。

**[MiniGBIC]** (存在する場合) : (グリーン) ポートの右側に配置されています。共有 RJ-45 ポート経由で接続が確立すると点灯します。ポートでトラフィックの転送を行っているときは、LED が点滅します。

## 追加機能

スイッチには、**[Reset]** ボタンが付いているものもあります。**[Reset]** の開口部へピンまたはペーパー クリップを挿入することで、スイッチをリセットできます。詳細については、「**デバイスの工場出荷時設定への復元**」を参照してください。



## 背面パネル

電源ポートは、スマート スイッチの背面パネルに配置されています。

# 5

## デバイスの工場出荷時設定への復元

[Reset] ボタンを使用してスマート スイッチをリブートまたはリセットするには、次の手順に従います。

- スマート スイッチを**リブート**するには、[Reset] ボタンを 10 秒未満押し続けます。
- スマート スイッチの設定を工場出荷時設定に**復元**するには、次の手順に従います。
  1. ネットワークからスマート スイッチを切断するか、ネットワーク上のすべての DHCP サーバを無効にします。
  2. 電源を投入して、[Reset] ボタンを 10 秒以上押し続けます。

Cisco Small Business シリーズの製品、マニュアル等に関する詳細については、[www.cisco.com/jp/go/sb](http://www.cisco.com/jp/go/sb) を参照してください。また、サポートに関する詳細については、[www.cisco.com/web/JP/solution/small\\_business/support](http://www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/support) を参照してください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。

VCCI-A

接続ケーブル、電源コード、ACアダプタなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。添付品・指定品以外の部品をご使用になると故障や動作不良、火災の原因になります。また、電気用品安全法により、当該法の認定（PSEとコードに表記）ではなく UL 認定（UL または CSA マークがコードに表記）の電源ケーブルは弊社が指定する製品以外の電気機器には使用できないためご注意ください。

## Cisco Small Business 製品（ハードウェア）に関する 制限付きライフタイム保証規定

ハードウェアの保証に適用される規定は以下の通りです。シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、以下およびシスコ製品に付属の『シスコ情報パッケージ』に記載されています。

**ハードウェア保証期間:**シスコ製ハードウェアは購入したエンドユーザが製品を所有または使用している限り、ファンおよび電源装置は 1 年間、保証されます。製品の製造が中止された場合は、シスコでは製造中止の通知から 5 年間保証します。

**ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順:**シスコまたはその代理店では、欠陥製品を受領してからただちに交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。交換部品は送料前払いの陸上輸送で出荷されます。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

**Return Materials Authorization (RMA; 返品許可) 番号の入手:**製品の購入先の当事者にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次のフォームに記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先:	
購入先の電話番号:	
製品のモデル番号とシリアル番号:	
メンテナンス契約番号:	

各種製品保証規定や、シスコ製品に関するその他の情報は、以下の Web サイト (URL: <http://www.cisco.com/go/warranty>) に掲載されています。

シスコ製品および適用される保証に関する完全なリストについては、上記の Web サイトを参照するか、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

本ドキュメントは、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については、上記の Web サイトを参照してください。



Cisco、Cisco Systems、Cisco ロゴ、および Cisco Systems ロゴは、Cisco またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本ドキュメントまたはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1002R)

© 2010 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.